

軽井沢エフエム放送株式会社 第72回 番組審議会

1. 開催日時： 平成25年4月11日（木） 午後14時00分より

2. 開催場所： 軽井沢ローストチキン カスターニエ
(長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢東23-2)

3. 出席：

[委員] 委員総数7名

議長・委員長	小	林	敦
委員	西	千	穂
委員	梅	原	孝
委員	菱	田	泰志
委員	袖	山	卓也
委員	和	貝	たかね
委員	永	島	基弘

[委員の出欠]

出席委員5名／欠席委員2名

[局側の出席者]

代表取締役会長	佐	藤	泰春
取締役社長	青	沼	昭
制作部	清	水	とも子
事務局	西	沢	美華

4. 議題： 番組審議

〈番組名〉「軽井沢組曲～音楽と想像～」

〈放送日時〉 毎週日曜 16:00～16:30

〈試聴〉 平成25年3月16日（土）放送分

〈委員の意見〉

■FM軽井沢から関西弁が聞こえてくるのは、個人的にあまり受け付けなかった。また、現場での音をそのままダイレクトに流しているからだろうが、なおやまさん(イベント出演者)の声が小さい。その場においてビジュアルがあれば成立しているのだろうが、音声だけでは分かりにくい。

■なおやまさんのイベント自体はいいもの。だが、放送にして聴いてみると何をやっているかわからない、となり、FM軽井沢を聴かなくなるようだとし残念。なおやまさんを知

らない人だと、現場を想像するのは難しい。

- なおやまんさんも障がいを持っている方に向けてというのは、収録も含め、難しかったはず。番組を作成したディレクターは相当苦労したのでは。今回の番組は難しい問題が色々あるが、企画としては良いものだったので、製作の皆さんには頑張ってください。
- 最初の訪問コンサートの部分は、会場の雰囲気少し分かりにくい。ただ後半の浅間学園のスタッフインタビューで様子が非常に良く伝わり、最後まで聴いた人には伝わったはず。
- 収録機材を1つで録る、というのには無理がある。施設利用者さんの声が聞こえないので、どういう反応をしているかという説明も無かったし、イベント後に障がい者の方にインタビューするというのも難しいところではある。
- 〈局側の補足〉成人している精神障がいのある方たちが多く、現場の臨場感、というのは難しいと感じた。マイクを渡していた出演者の収録の音は良く、ワイヤレスのマイクの方は、音が小さくとても残念だった。そのことをふまえ、音だけでは伝わらない部分をナレーションとしてご案内しても良かったと感じている。